

「ハイパー・ジャパン・フェスティバル 2023」(英国・ロンドン) に出展しました

■イベント概要

2023年7月21日(金)～23日(日)に、ロンドン西部にある大規模展示会場 Olympia London で、英国最大規模の日本文化を広めるイベント「HYPER JAPAN Festival 2023」が開催されました。HYPER JAPAN Festival は、日本の伝統文化や食からゲーム、アニメ、ファッションなどのポップカルチャーに至るまで、日本の文化を幅広く紹介するイベントです。今年は2日目の悪天候や3日目の地下鉄ストライキ計画(最終的に地下鉄ストライキは中止となった)の影響を受けたものの、来場者数は2万2,000人と去年よりも10%増加しました。また、アニメ・漫画・ゲーム等のキャラクターの衣装に身を包んだ来場者も数多く訪れ、会場は大いに賑わいました。

イベント名	HYPER JAPAN Festival 2023
期 間	2023年7月21日(金)～23日(日)
場 所	Olympia London
主 催 者	クロスメディア社
後 援	在英国日本国大使館、日本貿易振興機構、国際交流基金、 日本政府観光局、自治体国際化協会ロンドン事務所、 日本動画協会、日本音楽産業・文化振興財団、映像産業振興機構
参加者数	約22,000人
ウェブサイト	https://hyperjapan.co.uk/



賑わうイベント会場の様子

クレアブースでの PR

クレアブースでは、日本の各自治体からご提供いただいたパンフレットの配布やポスターの掲示、そしてタブレット端末によるPR動画の上映を通して、日本各地の魅力を発信しました。

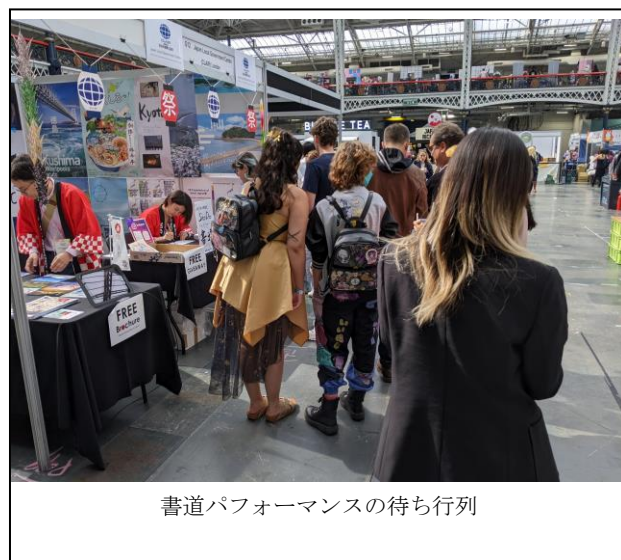
来場者が手にしているパンフレットを現場で見ているところ、日本のいわゆるゴールデンルートに位置する都市のもの、表紙の写真が美しいもの(例えば桜や、自然の中に佇む世界遺産の建築物など)、表紙にマンガのキャラクターあるいは著名なご当地ゆるキャラが登場しているもの、冊子自体のデザインに趣向を凝らしているものが、より人気が高いように感じられました。日本の各自治体からご提供いただいたパンフレ

ットは、昨年比で約 300 部増の約 2,600 部を 3 日間で配布しました。日本の人気の高まりに伴い、パンフレットの需要が年々増えてきているところです。日本の各自治体におかれましては、引き続きご提供をお願いしたいと思います。

また、日本の伝統文化体験の一環として、折り紙や書道パフォーマンスも行いました。今回はクreaブースに伝統的な折り紙作品(千羽鶴、くす玉)を展示しました。作品に興味をもった方々がブースに立ち寄り、鶴や手裏剣などの折り紙を体験していました。そして、書道パフォーマンスは、本イベントではクreaブースでしか実施しておらず、PR するうえで非常に有効な手段でした。特に来場者の名前を筆書きする書道パフォーマンスは人気で、行列ができるほどの盛況ぶりでした。



折り紙を体験する来場者



書道パフォーマンスの待ち行列

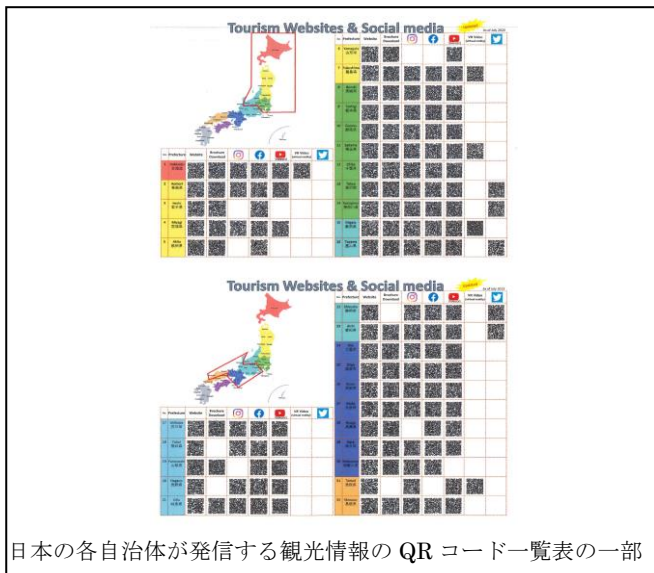
PR 効果の向上に向けて

イベント当日だけでなく、イベント終了後も引き続き日本の地域に興味・関心を持ち、各地域の情報との接点を維持していただけるよう、各種 PR において工夫を行いました。

①日本の各自治体が発信する観光情報の QR コード一覧表

昨年は、自然環境保全の観点から紙のパンフレットやパンフレットを入れるビニール袋などを受け取ろうとしない来場者向けにも広く情報を発信するため、日本の各自治体の観光サイトや Instagram、Facebook、Youtube の各アカウントのリンクを QR コード化した一覧表を壁に掲示し、案内していました。

しかしながら、今年新たに北欧で出展した日本 PR イベントを通して、環境意識の高い北欧においても紙媒体のパンフレットの需要が少なからずあるという知見を得ることができました。そこで、今年の Hyper Japan では、QR コード一覧表の観光情報を充実化、配布用にアレンジのうえ、紙媒体で準備し配布を行いました。来場者からは「これは非常に良いアイデアで役に立つ」といったコメントをいただきました。また、来場者が希望する自治体のパンフレットが売り切れてしまった場合でもこの QR コード一覧表を用いて PR することができるため、私たちクreaスタッフにとってもメリットが大きいと感じました。



②レシピカード

英国においては日本食に対する関心が継続的に高まっており、近年は寿司、天ぷらのような高級なものだけでなく低価格帯かつ庶民的な巻き寿司、ラーメン、うどん、唐揚げ、カツカレーなどのメニューが流行し、定着してきています。このような傾向を踏まえ、クエアロンドン事務所では、日本各地のご当地グルメレシピと観光情報をセットにした情報 (Cook Local Japan) を昨年からホームページ上で発信しているところです。

今回は、ご当地グルメのレシピ・日本の各自治体の観光情報・クエアロンドン事務所 Instagram アカウントそれぞれへのリンクの QR コードと、ご当地グルメの写真を表裏に印刷したレシピカードを準備しました。日本食の写真に目が留まってカードを手に取り、その場で QR コードを読み取る来場者の姿が多く見受けられました。



③書道用紙の QR コード

特に来場者ご自身の名前が書かれた書道用紙は、記念に取っておかれる方が多いと考えます。そこで、Cook Local Japan のページのリンクと、クエアロンドン事務所 Instagram アカウントへのリンクの QR コードを埋め込んだ書道用紙を用いて、来場者の名前を筆書きする書道パフォーマンスを行いました。イベント終了後も引き続き日本各地域の情報との接点を維持するうえで有効な手段であると考えています。

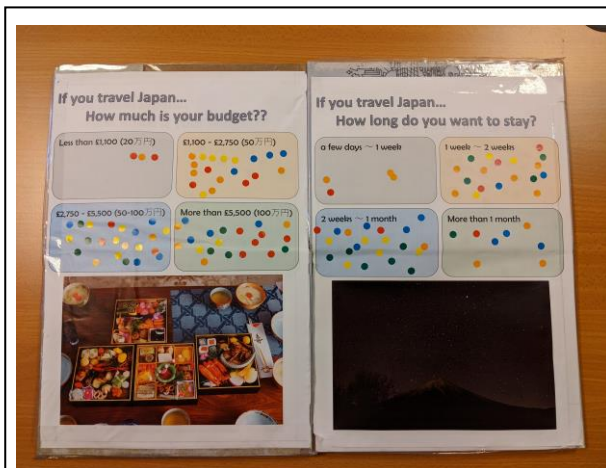


QRコードを埋め込んだ書道用紙を用いた書道パフォーマンス

今年度の新たな取り組み

①フリップを用いたアンケートによる訪日旅行の動向収集

昨年まではアンケート用紙を用いて来場者にヒアリングを行ってきましたが、来場者からより効率的かつ気軽に回答が得られるよう、今年はフリップを用いてアンケートを実施しました。アンケートの設問については、これまでクリアロンドン事務所に訪問された自治体の方々と意見交換をする中で、「英国旅行客が日本でどれだけお金を使っているか、どのくらいの価格帯のホテルに宿泊しているか」といった事項に関心のある方が多いように感じられたことから、「(1)訪日旅行時の予算」と「(2)訪日旅行時の滞在期間」を今回の調査項目として設定しました。



フリップを用いたアンケート



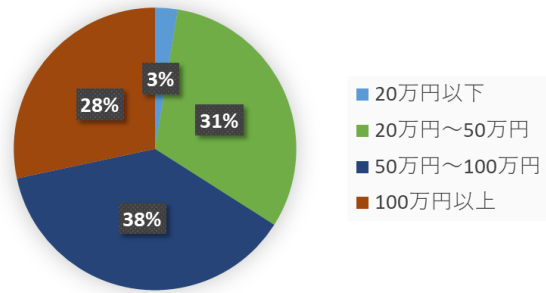
アンケートに回答する来場者

今回のアンケートでは、約 200 人から有効な回答を得ることができました。結果は以下のとおり、「(1)訪日旅行時の予算」では、50 万円～100 万円が 38%と最も多く、次いで 20 万円～50 万円が 31%、100 万円以上が 28%となりました。また、「(2)訪日旅行時の滞在期間」では、2 週間～1 か月が 40%と最も多く、次いで 1 週間～2 週間が 38%、1 か月以上が 17%となりました。

(1) 訪日旅行時の予算について(フライト代は除く)

- ・ 20 万円以下(3%)
- ・ 20 万円～50 万円(31%)
- ・ 50 万円～100 万円(38%)
- ・ 100 万円以上(28%)

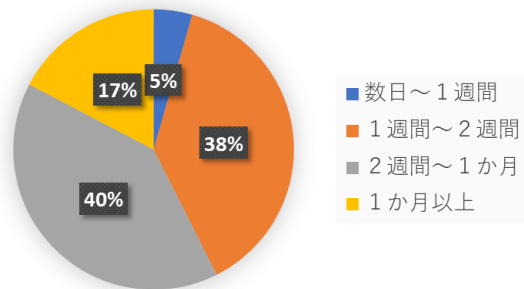
訪日旅行時の予算



(2) 訪日旅行時の滞在期間

- ・ 数日～1 週間(5%)
- ・ 1 週間～2 週間(38%)
- ・ 2 週間～1 か月(40%)
- ・ 1 か月以上(17%)

訪日旅行時の滞在期間



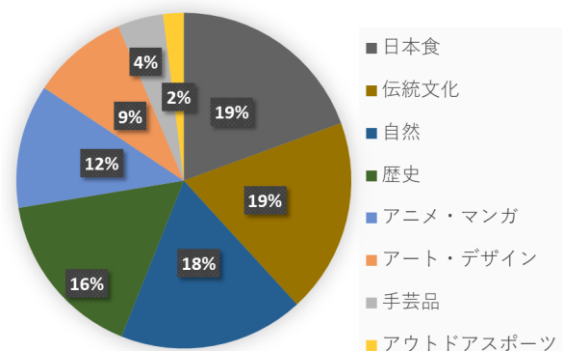
アンケート回答時に現場で来場者にヒアリングしたところ、「(1) 訪日旅行時の予算」で 50 万円～100 万円と回答した来場者の大部分が、「(2) 訪日旅行時の滞在期間」で 2 週間～3 週間と回答しており、また「(1) 訪日旅行時の予算」で 100 万円以上と回答した来場者の大部分が、「(2) 訪日旅行時の滞在期間」で 1 か月以上と回答していました。これらのことから、今回アンケートに回答した来場者約 200 人については、「訪日旅行する際の 1 日当たりの予算は約 3.5 万円～5 万円程度」ではないかと推測されます。最近では富裕層外国人の訪日時の消費について取り沙汰されることがありますが、英国と日本の物価感覚の相違、すなわち英国でホテルに宿泊するのに 1 泊 2 万円～3 万円程度必要であることを踏まえると、この金額はむしろ、いわゆる英国一般庶民の予算として妥当な金額であると推測されます。ただし、この推測を確度の高いものとするためには、より精度の高い調査が必要です。

また、「(3) 来場者の関心事項」についても、フリップを用いたアンケートにより調査を行いました。結果は以下のとおり、日本食と伝統文化がそれぞれ 19%と最も多く、次いで自然が 18%、歴史が 16%、アニメ・マンガが 12%、アート・デザインが 9%、手芸品が 4%、アウトドアスポーツが 2%となりました。日本食や伝統文化、自然、歴史が以前と高い関心を維持しており、クレアロンドン事務所が出展している他のヨーロッパ諸国と同様の傾向が伺えます。

(3) 来場者の関心事項

- ・ 日本食(19%)
- ・ 伝統文化(19%)
- ・ 自然(18%)
- ・ 歴史(16%)
- ・ アニメ・マンガ(12%)
- ・ アート・デザイン(9%)
- ・ 手芸品(4%)
- ・ アウトドアスポーツ(2%)

来場者の関心事項



②VR映像体験コーナー

今年度は新たに、日本の各自治体からご提供いただいたオフラインのVR映像データを用いて、iPadによるVR映像を来場者に体験していただきました。体験した来場者からは「実際に日本にいるみたいですごい。本当に目の前で日本食を食べているようだ。」と喜びの声をいただきました。



来場者の関心事(上記以外)

さまざまな来場者と会話をする中で、「もうすぐ日本に旅行する計画であるがお勧めの場所はどこか」「日本を訪れるのにどの季節が一番良いか」といった問合せが非常に多く、訪日に向けて具体的に動き出した方々が情報収集のためにクレアブースを訪れている兆候が見て取れました。また「日本の物価は英国よりも高いのか」「これだけの予算があれば日本をまわるのに充分か」といった声もあり、コロナやウクライナ情勢を受けて急速に進んだインフレを懸念し、予算立てを慎重に行っている点を垣間見ることができました。



おわりに

クレアロンドン事務所では、今年度、アイルランド・ダブリンにおける「エクスペリエンス・ジャパン」、デンマーク・コペンハーゲンにおける「サクラフェスティバル」、ドイツ・デュッセルドルフにおける「日本デー」、そし

て今回の「HYPER JAPAN」と、日本関連イベントへの出展の度に、そのPR内容・手法について継続的に改善を行いながら日本文化及び地域のPRに努めてきました。今後も、引き続き来場者の意識や時代の流れに合わせ、対象国別の効果的なPR方法について考え続けながら、日本文化及び日本の地域・自治体の旬の情報を積極的に発信していきます。

Hyper Japan 2023 担当 所長補佐 西田隆章